

科目名		授業形態	担当教員名	
作業療法臨床技能演習		演習・講義	嘉納 綾・淡路 大致・岡田 誠暁 山本 翔太・井上 直樹・大永 寛	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
評価実習・長期実習を見据え、実際の患者を想定した状況で検査や面接の課題に取り組み、実践能力の向上を目指す。検査や面接技法に併せて、臨床に望ましい身なりや態度、マナーについての習得状況も確認する。				
授業の到達目標				
1. 臨床実習生として相応しい身なりと態度で模擬患者に接し、良好な関係を構築することができる。 2. 模擬患者に対して適切な動作の誘導・介助、評価を実施することができ、得られた結果を報告することができる。 3. 臨床技能や対象者への接遇などの自己の問題点を認識し、それに対する改善策を述べることができる。				
授業計画				
回	内容			
1	オリエンテーション、課題内容に基づいた実技演習（課題1）①			
2	課題内容に基づいた実技演習（課題1）②			
3	課題内容に基づいた実技演習（課題2）①			
4	課題内容に基づいた実技演習（課題2）②			
5	課題内容に基づいた実技演習（課題3）①			
6	課題内容に基づいた実技演習（課題3）②			
7	課題内容に基づいた実技演習（課題4）①			
8	課題内容に基づいた実技演習（課題4）②			
9	課題内容に基づいた実技演習（課題5）①			
10	課題内容に基づいた実技演習（課題5）②			
11	課題内容に基づいた実技演習（課題6）①			
12	課題内容に基づいた実技演習（課題6）②			
13	まとめ			
14	臨床技能試験①			
15	臨床技能試験②			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	30%	定期試験（詳細は授業内で提示する）		
レポート・課題				
小テスト				
平常点				
その他	70%	臨床技能試験（詳細は授業内で提示する）		
自由記載	再試験は、実技試験70% 筆記試験30%で判定する。			
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
特に指定しない				
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
PT・OT のための臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・検査測定編		才藤栄一	金原出版	
PT・OT のための臨床技能とOSCE 機能障害・能力低下への介入編		才藤栄一	金原出版	
自由記載				
備考				
授業内容や順序は変更する場合があります。その場合は事前に通知します。				